



主催：京都市学校歴史博物館、京都歴史文化施設クラスター実行委員会  
令和4年度 文化庁 Innovate MUSEUM 事業



講演会

# 教育文化と学校文化

—学校の未来を考えるために—

令和5年2月25日(土)

14時～15時30分 (開場：13時30分予定)

講師 稲垣 恭子 (京都大学理事・副学長)



学制150年を迎えた今年度以降、創立150周年の記念として、全国各地の小中学校で自校史編纂の実施が予想されます。初めての「学校」経験である小中学校での生活は、児童にとって大きな意味をもつものです。時代や個人によっても異なるそうした多様な経験＝「生きられた文化」を知ることは、日本の学校がどのような意味を持ってきたのかを考える上で重要です。「かつての記念誌などに記録された卒業生・地域住民の回想」など、いわば想起される教育文化・学校文化に関する情報は、そのための貴重な資料です。しかし、郡中小中学校を含む小中学校の大部分においては、学校関連の資料をこれまで積極的に整理、収集してきた訳ではないのが実情です。本講演では、教育文化、学校文化という視点から、こうした資料の意味についても考えたいと思います。

また、学校の建築や空間配置は、身体化される文化として子どもの成長と生活文化の形成にとって大きな位置を占めるものです。しかし、明治近代における学校建築や空間づくりの意味は、学制150年の歴史のなかで大きく変化しています。近年、少子化に伴う小中学校の閉校の増加、さらにはインクルージョンに関する意識の高まりなど、これまでの学校のあり方を問い直す取組も活発化しつつあります。校舎の外観や内部構造を再検討する取り組みにおいても、「使いづらさ」や「不便さ」といった機能の側面だけでなく、学校文化やより広い社会における教育文化の形成という視点から検討することが重要な課題だと思えます。

閉校校舎の再活用例の増加という動きが象徴するように、パブリック空間としての学校の意味、さらには活用のあり方が鋭く問われている今日において、教育文化・学校文化の議論の重要性は、この空間の望まじきあり方に示唆を与える観点からも、著しく高まっていると言えるでしょう。この講演会は、皆で教育文化・学校文化について学び、学校の未来を思考する機会となることを目指しています。

会場	京都市学校歴史博物館	対象	中学生以上	申込方法は裏面へ！
参加費	無料 (ただし、別途入館料400円が必要) ※手話通訳あり (2/14(火)までに要予約)			
定員	50名 (要事前申込み・先着順)	申込受付	2月24日(金) 〆切り	



**京都市学校歴史博物館** (水曜休館)

〒600-8044  
京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437  
TEL: 075-344-1305  
FAX: 075-344-1327  
<http://kyo-gakurehaku.jp>

※駐車場はございません。※正面入口、御幸町通からお入りください。





# お申し込み方法

(令和5年1月16日(月)から受付を開始します)

電話・電子メール・FAXのいずれかでお申し込みください。  
**令和5年2月24日(金)〆切り (定員になり次第受付終了)**

- ①講演会名 (開催日)    ②参加代表者氏名    ③電話番号  
 ④参加人数 (本人含む)    ⑤メールアドレス



電話

075-344-1305

(休館日：水曜日)

※電話番号のおかけ間違いのないようご注意ください。



①～④をお伝えください



電子メール

rekihaku-jigyou@edu.city.kyoto.jp



①～⑤を明記のうえ、  
送信ください

※確認後、当館よりメールを返信いたします。



FAX

075-344-1327

※送信の際、FAX番号・用紙の表裏のお間違いにご注意ください。



下の表に必要事項をご記入の上、  
FAXで送信してください

※確認後、当館よりご記入いただいたFAX番号に返信いたします。

講演会名	2 / 25 (土) 講演会 教育文化と学校文化 —学校の未来を考えるために—
ふりがな	
氏名 (2名以上でお申し込みの場合は代表者)	
申込人数	名
電話番号【必須】	— —
FAX番号【必須】	※当館からの返信を受信できるFAX番号をご記入ください。 — —

## 【新型コロナウイルス感染症拡大対策のお願い】

- ・発熱や咳など風邪の症状がある方又は体調に不安のある方は、参加をご遠慮ください。
- ・ご来館の際は、マスクの着用にご協力をお願いいたします。
- ・講座の開始前に手洗いや手指消毒用アルコールでの消毒をお願いいたします。
- ・当館スタッフもマスクを着用し対応いたしますので、ご了承ください。

## 【警報発令時の休講について】

以下の警報発令の場合、休講といたします。  
 休講の連絡はいたしませんので、気象情報に注意しご判断ください。

- ・「暴風警報」→講座開始時刻の2時間前の時点で、暴風警報が京都市に発令されている場合
- ・「特別警報」→発令時刻警報の種類に関わらず、即時に休講